

# 富山大学 学報

## 第258号

### 目 次

学 長 告 辞..... 1	人 事 異 動..... 8
昭和60年度富山大学（学部，専攻科， 大学院研究科）並びに富山大学経営 短期大学部入学式 学長告辞..... 1	学 内 諸 報..... 8
関 係 法 令..... 3	富山大学学長候補者選挙..... 8
学 内 規 則..... 5	名誉教授の称号授与..... 9
富山大学学則の一部改正..... 5	海外渡航者..... 9
富山大学経営短期大学部学則の一部改正..... 5	附属図書館電算化業務の開始.....10
諸 会 議..... 5	職 員 消 息.....12
学 事..... 7	主 要 行 事.....13
昭和60年度富山大学（学部，専攻科， 大学院研究科）並びに富山大学経営 短期大学部入学式の挙行..... 7	資 料.....16
	昭和60年度入学者数.....16
	昭和60年度学生数.....18
	昭和60年度聴講生，研究生数.....19

## 学 長 告 辞

### 昭和60年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）並びに 富山大学経営短期大学部入学式 学長告辞

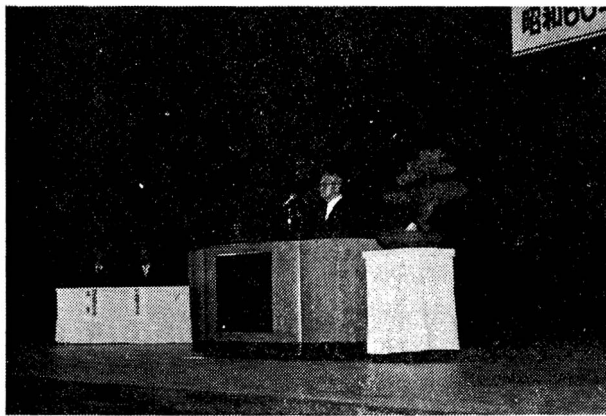
ただいま入学許可の宣言にありましたように、1,349名にのぼる諸君は、この富山大学の各課程，大学院そして経営短期大学部へめでたく入学された方々であり、私ども本学教職員一同は、ここに心から歓迎の意を表明したいと思います。これからは大いに張り切って勉学に、また課外活動に励んでいただきたいと思ひます。本学では長年の懸案であった工学部の富山市五福の本キ

ャンパスへの統合移転も、本年10月で完了する予定になっていますが、諸君を含め学生が一丸となって、このキャンパスを若者らしい活気に満ちた一角としていただきたいと、大いに期待しております。

さて諸君の大部分は、これまで小中学校の義務教育及び高等学校教育を終えられて、最高学府である本学へ進学されたわけですが、ここではこれまでやってき

たような勉学の仕方ではない、社会へ出てからもいきなり通用するような勉学の仕方をしてほしいので、この点について一言申し上げようと思います。というのは、諸君の大部分は、これまでの勉学では、多くの情報を頭につめ込むことが中心になってきたと思います。これからはその情報量の拡大をはかるばかりでなく、それらの情報の中から何を引き出し、それをどうしたら自分の血となり肉となるものに仕立てあげてゆることができるかということについて、常に心掛けていただきたいと思うのです。

私は過日、ある企業の経営者の方からこんな話を聞きました。自分の会社に入社した社員たちをみていると、大体3、4年もすると、ある所で停滞してしまう人と、それから先どんどん伸びる人とに分れてしまうというのです。これは社員一人一人の学歴とは無関係であって、中でも特にいわゆる凝り性の人は、先が明るいように思われる。凝り性の人は頭の良し悪しは別として、どこまで仕事しても自分として納得せずに、自分で問題を見つけながら、先へ先へと目を向けてゆく。こんなタイプの人に限って仕事が面白くてしょうがないらしい。そして仕事を進めてゆくうちに、何かの足掛りを自分で見付けて、それを梃子にして、更に



一歩も二歩も前進するというのです。こんなタイプの人は常に何でも知りたい、何かしたいといった、言わば好奇心に満ち満ちているので、それだけ足掛りを見付けて目を見開くチャンスが高いというのです。

私はこれを聞いてなるほどと思いました。学問もそうだし、スポーツだってそうです。また芸事もそうだと思います。そして大学という所は、そういう目を見開くためには十分豊富な材料というか、対象といったものが揃っており、足掛りをつかむための環境としては申し分ない場だと思います。要するに問題なのは諸君達自身の日頃の心構えがどうなのかということにか

かってくると思います。大学4年間の生活の間に、勉学の上でも、また課外活動の上でも、何をすることもこの心構えを持ち続けていて下さい。そうすれば恐らく社会へ出て、それがごく自然に身についたものとなって、結果的には大いに役立つに違いありません。

ただこのように抽象的に話をしても、まだ分かりにくいかも知れませんが、大学では一般教育と専門教育との二つの面があり、かなり幅広く物を見る見方を教わることになるでしょうが、その教わり方を自分で工夫してほしいのです。諸君のこれまでの学習では、数学は数学、歴史は歴史、化学は化学といった具合に、一つ一つの科目を別々のものとして教わってきたので、世の中のことは何事によらず、それらがすべて有機的に関連しているということをも十分理解してほしいのです。そこで一つの事柄を幅広い視野から眺めることを心掛けていれば、一面的にみる場合よりはるかに多くの疑問が生れてきて、それが足掛りとなって新しい局面が開けてくるのであります。

ここでいささか突飛な例ではありますが、一つの例を挙げて考えてみましょう。現在社会的に農薬の問題がとりあげられていて、無農薬野菜なども出てきています。そこでこの問題を考えてみますと、驚く程多方面にわたる問題があることに気がつきます。ある農薬が野菜畑にまかれると、それは野菜と土壤に付着し、それぞれ雨で流されたり分解されたりします。どれだけ流され、どれだけがどうやって分解されて、どれだけが残るのでしょうか。野菜は人が食べる前にも洗われたり、料理されたりして、一部は失われ残りが人の体内に入ります。これも一部は排泄されたり分解されたりするでしょうが、結局どれだけ体内に残るのでしょうか。一方農薬を使わずに野菜を栽培するとしたら、病気にかかったり虫害を受けたりするでしょうが、その結果どれだけ収量が減るのでしょうか。従ってそのリスクまで考えると、無農薬野菜は、どれだけコスト高になるのでしょうか。そうすれば消費者は心理的にどう対応してくるでしょう。細かく考えるとこの他にもいくらかでも問題はありますが、これを学問的にみても、作物学、植物病理学、土壌学、微生物学、薬理学、生化学、家政学、農業経済学、心理学などなど著しく広い学問分野にまたがった問題のあることがわかります。現状ではこれだけ多くの問題の一つ一つが十分にはわかっていないまま、農薬問題が論じられているのですが、私がここで言いたいことは、農薬問題一つとってもこれだけの問題があり、一つ一つの問題が解決しな

いことには、この問題にどう対処したらよいかわからないことになるということです。今は問題点を指摘したに過ぎませんが、要するに何事によらず物事は大づかみにして、できるだけ多角的にみつめて、その中から問題を一つ一つ掘り起こして、それを究明してゆくという態度こそ、諸君の大学生活に課せられた課題なのであります。ただここで諸君に対して自力で問題点を究明してゆくところまで要求することは、恐らく無理かも知れませんが、何事につけ問題点を見いだす、疑問をもつということまでは諸君の力で十分できると思います。そしてこのような習慣を身につけることこそが、諸君が社会へ巣立っていった後の素晴らしい糧となることを信じてやみません。

最後にもう一つつけ加えたいことがあります。それは諸君は大学生となって、ただ教室に出掛けて行って、先生方の講義を聞くだけで事足りるとしないしてほしいのです。それだけでは時間は十分余るはずで、余った時間に、テレビなどをみてぼんやりとひっくり返っているという学生人口が増えてきたと聞いておりますが、本学には多くのスポーツクラブもあるし、多彩な文化クラブもあって、皆熱心に自主的な活動を続けております。これらの課外活動を通じて学ぶべきことはいくらでもあります。国立大学協会で行くつかの大学の卒業生である社会人に対して、大学在学中の課外活動についてのアンケート調査をしたことがあります。その結果、大部分の人は在学中の課外活動が、社会へ出てから何事につけ、非常に役に立ったと回答しています。すなわち課外活動を通じて人間関係の機微を知り、それにどう対処したらよいかを肌で感じたこと、あるいは頑張るといえることがどういうことかを体で

かに知ったことなどが指摘されました。これら先輩達にならって、諸君もどうか課外活動に積極的に参加して下さい。そして自分の属するクラブの伝統をゆっくり見直して、若し問題点があれば新しい形につくりあげてゆくといった意気込みでのぞんでほしいと思います。そうすれば諸君も先輩達と同様に、課外活動をやったよかったと思いながら、本学を卒業することができるでしょう。

本日私はいろいろなことを申し上げてきましたが、私の言いたいことをまとめてみますとこうなります。諸君は大学に入って一般教育と専門教育の二面からいろいろなことを学ぶでしょうが、ただこれを丸暗記しても、社会へ出たら自分に関係ないことは大部分忘れてしまうでしょう。若しそうだとしたら大学教育などというものは無駄だということになってしまいます。現に最近はこの無茶な議論もでてきています。そのような議論を吹き飛ばすためにも、諸君にとって大切なことは、教室でも教室外でも、いろいろなことを教わるでしょうが、それらの知識を生かして広い視野から多角的に物を見たり考えたりして、貪慾に自分なりの問題意識をつかんでゆくという態度ではないでしょうか。これが世にいう「やる気」というものだと思います。ですから言ってみれば、大学は頭の体操学校だといえると思います。頭の体操をしながら、自分でやる気を育て上げるところが大学なのです。大学生活の4年間に、この気持でのぞんでいけば、社会へ出てからもそのまま継続した生活ができるはずで、どうか皆さん、こんな気持で頑張ってください。

昭和60年 4月10日

富山大学長 柳 田 友 道

\*\*\*\*\*  
**関 係 法 令**  
 \*\*\*\*\*

	(官報掲 載月日)		(官報掲 載月日)
<b>法 律</b>		正する政令(78)	4・6 (号外)
○国民年金法等の一部を改正する法律(34)	5・1 (号外)	○臨時教育審議会設置法施行令の一部を改 正する政令(80)	4・6 (号外)
<b>政 令</b>		○文部省組織令及び社会教育審議会令の一 部を改正する政令(86)	4・6 (号外)
○行政機関職員定員令及び沖縄の復帰に伴 う行政機関の職員の定員に関する法律の 適用の特別措置に関する政令の一部を改			

省 令	(官報掲 載月日)	告 示	(官報掲 載月日)
○国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(文部4)	3・30 (号外)	○日本育英会法施行令の規定による試験所又は研究所として指定した件(文部43)	4・4
○国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令(文部5)	3・30 (号外)	○日本育英会法施行令の規定による研究所等を指定した件の一部を改正する件(文部44, 45)	4・4
○日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定に関する省令の一部を改正する省令(文部6)	3・30 (号外)	○学校等の認定基準(郵政241)	4・4
○産業教育調査規則及び学校給食調査規則を廃止する省令(文部7)	3・30 (号外)	○郵便法等の規定に基づき郵便番号を定める件の一部を改正する件(郵政252)	4・8 (号外)
○毎月勤労統計調査規則の一部を改正する省令(労働10)	3・30 (号外)	○短期大学の名称を変更する件(文部46~48)	4・8
○文部省設置法施行規則の一部を改正する省令(文部14)	4・6 (号外)	○短期大学の位置を変更する件(文部49, 50)	4・8
○文部省定員規則の一部を改正する省令(文部15)	4・6 (号外)	○大学の名称を変更する件(文部51)	4・8
○義務教育諸学校施設費国庫負担法施行規則等の一部を改正する省令(文部16)	4・6 (号外)	○昭和60年度分の予算について支出負担行為の実施計画につき大蔵大臣の承認を経なければならない経費を定める等の件(大蔵55)	4・9
○日本育英会が第一種学資金の貸与を行う場合の大学通信教育における面接授業の方法に関する省令(文部17)	4・6 (号外)	○著作権に関する講習を実施する件(文化庁8)	4・9
<b>規 則</b>		○無線従事者国家試験の一部を免除する学校等として認定した件の一部を変更する件(郵政273)	4・11
○人事院規則1-5(特別職)の一部を改正する規則(人事院1-5-1)	4・6 (号外)	○短期大学の位置を変更する件(文部56, 57)	4・15
○人事院規則2-3(人事院事務総局の組織)の一部を改正する規則(人事院2-3-2)	4・6 (号外)	○短期大学の名称を変更する件(文部58)	4・15
○人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する規則(人事院9-30-2)	4・6 (号外)	○無線従事者国家試験の一部を免除する学校等として認定した件の一部を変更する件(郵政296)	4・15
○人事院規則9-55(特勤勤務手当等)の一部を改正する規則(人事院9-55-2)	4・6 (号外)	○無線従事者国家試験の一部を免除する学校等を認定した件(郵政302)	4・16
○人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する規則(人事院9-17-2)	4・26	○昭和60年度学校図書館司書教諭講習実施要項(文部61)	4・22
○日本学術会議会則の一部を改正する規則(日本学術会議1)	4・26	○大学の位置を変更する件(文部62)	4・22
○人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する規則(人事院9-17-3)	5・1		
○人事院規則9-55(特勤勤務手当等)の一部を改正する規則(人事院9-55-3)	5・1		



学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和60年 4 月19日

富山大学長 柳 田 友 道

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年 3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第 4 中「5,600円」を「6,200円」に、「36,000円」を「45,000円」に、「12,000円」を「15,000円」に改める。

附 則

1 この学則は、昭和60年 4 月19日から施行する。

2 昭和60年度内の入学に係る研究生、聴講生の入学料及び検定料の額は、従前のおりとする。

▶ 富山大学学則の改正理由

富山大学における研究生、聴講生に係る検定料及び入学料を改訂するため、所要事項を改める。

富山大学経営短期大学部学則の一部改正

富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和60年 4 月25日

富山大学経営短期大学部学長 柳 田 友 道

富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則

富山大学経営短期大学部学則（昭和34年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第34条中「5,600円」を「6,200円」に改める。

第36条中「12,000円」を「15,000円」に改める。

附 則

1 この学則は、昭和60年 4 月25日から施行する。

2 昭和60年度内の入学に係る聴講生の入学料及び検定料の額は、従前のおりとする。

▶ 富山大学経営短期大学部学則の改正理由

富山大学経営短期大学部における聴講生に係る検定料及び入学料を改訂するため、所要事項を改める。

諸 会 議

第 4 回学長選考管理委員会（4 月 1 日）

（議 題）

昭和60年度第 1 回入学者選抜方法研究委員会専門委員会（4 月 8 日）

(1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和58年度以降の調査研究事項について

**第5回学長候補適任者選定委員会（4月9日）****第5回学長選考管理委員会（4月9日）****昭和60年度第1回事務協議会（4月15日）****（議 題）**

(1)当面の諸問題について

**昭和60年度第1回部局長懇談会（4月16日）****（懇談事項）**

(1)当面の予算日程について

**昭和60年度第1回学園ニュース編集委員会（4月18日）****（審議事項）**

- (1)昭和60年度学園ニュースの発行計画について
- (2)第48号学園ニュースの発行について

**昭和60年度第1回評議会（4月19日）****（報告事項）**

- (1)昭和60年度理学部物理学第2次募集について
- (2)昭和60年度入学状況について
- (3)学生の動向について

**（審議事項）**

- (1)富山大学学則の一部改正（案）について
- (2)富山大学名誉教授称号授与について
- (3)学生の懲戒について
- (4)学生の除籍について

**昭和60年度第1回教務委員会（4月19日）****（報告事項）**

(1)教養部と学部の相互乗り入れについて

**（審議事項）**

(1)情報処理教育について

**昭和60年度第2回入学者選抜方法研究委員会専門委員会（4月20日）****（議 題）**

(1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和58年度以降の調査研究事項について

**昭和60年度第1回大学案内編集委員会（4月20日）****（審議事項）**

(1)昭和61年度富山大学案内の編集について

**昭和60年度第1回低温液化室運営委員会（4月22日）****（審議事項）**

(1)昭和60年度運営費等について

**昭和60年度第1回情報処理センター運営委員会（4月22日）****（報告事項）**

- (1)整備状況と利用状況について
- (2)附属図書館システムについて
- (3)運営方法について
- (4)開所式について
- (5)計算機センターの年報の発行について

**（審議事項）**

- (1)学生実習利用料金の上限の設定について
- (2)広報の発行について
- (3)運営費予算案について
- (4)専門委員の推薦について
- (5)講習会・講演会・利用説明会等の開催について
- (6)運営時間帯について

**昭和60年度第1回放射性同位元素委員会（4月23日）****（審議事項）**

(1)放射性同位元素総合実験室長の指名について

**昭和60年度第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会（4月23日）****（審議事項）**

- (1)昭和60年度総合実験室使用許可申請について
- (2)昭和59年度収支決算及び昭和60年度運営費について
- (3)放射線防護設備について

**第6回学長選考管理委員会（4月23日）****第7回学長選考管理委員会（4月24日）****昭和60年度第2回評議会（4月24日）****（審議事項）**

(1)次期学長候補者について

**昭和60年度第1回トリチウム科学センター運営委員会専門委員会（4月25日）****（審議事項）**

(1)昭和60年度学内共同利用について

昭和60年度第1回授業料等減免選考委員会（4月26日）  
（審議事項）

- (1)昭和60年度学部入学生の入学料免除について
- (2)昭和60年度大学院，専攻科学生の入学料免除について

- (3)体育部会3号及び5号委員について
- (4)学生の動向について

（審議事項）

- (1)体育部会1号委員（部会長）の選出について
- (2)第30回大学祭及び第9回体育祭について

昭和60年度第1回補導協議会（4月26日）  
（報告事項）

- (1)補導協議会委員について
- (2)文化部会5号委員について

第48回構内交通対策委員会（4月26日）  
（審議事項）

- (1)工学部五福キャンパス内における駐車規制（案）について



学 事



昭和60年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）  
並びに富山大学経営短期大学部入学式の挙

昭和60年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）  
並びに富山大学経営短期大学部入学式は，4月10日（水）  
午前10時から富山市公会堂において挙行されました。

式典は，新入生1,349名の入学許可宣言にはじまり，  
学長告辞，部局長紹介のあと，本学合唱団の合唱及び  
フィルハーモニー管弦楽団による演奏が行われました。



一職員会館の宿泊の御案内一

- ◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!
- ◎申し込み……利用日の2日前までに!!
- ◎門限時刻……午後10時 ……御協力を……!!

人事異動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	60. 4. 10	本 田 善 彦		事務補佐員（附属図書館）	富山大学長
	〃	藤 木 彌三郎		〃 （ 〃 ）	〃
	60. 5. 1	成 田 節		講 師（教 養 部）	〃
転 任	〃	田 代 発 造	文部技官(東京農工大学工学部 生産機械工学科精密機器講座)	助手（工学部）	富山大学長
併 任	60. 4. 2	中 川 正 之	教授（理学部）	理学部長・評議員(60. 4. 2~62. 3. 31)	文部大臣
	〃	〃	〃（ 〃 ）	トリチウム科学センター長 (60. 4. 2~62. 3. 31)	〃
	〃	位 崎 敏 男	〃（工学部）	工学部長・評議員(60. 4. 2~62. 4. 1)	〃
	60. 4. 25	世 利 幹 雄	〃（教養部）	評議員（60. 4. 25~62. 4. 24）	〃
	〃	大 谷 重 彦	〃（ 〃 ）	〃（ 〃 ）	〃

学 内 諸 報

富山大学学長候補者選挙

柳田友道学長の任期が、昭和60年 6 月12日に満了することに伴う次期学長候補者の選挙が 4 月24日に行われました。

同選挙は、学長候補適任者選定委員会（委員長 中川正之教授）から学長候補適任者として選定された次の 5 氏について、同日10時から11時までの間事務局大会議室で選考管理委員会（委員長 有澤一男教授）管理のもとに行われました。

- 大井信一（富山大学教授）
- 大澤欽治（富山大学教授）
- 杉本新平（富山大学教養部長）
- 中川正之（富山大学理学部長）
- 本田 弘（富山大学学生部長）

その結果、初回投票において有効投票の過半数の得

票者がなかったため、高点者大井信一、中川正之の両氏について決選投票を行い、有効投票 336票のうち、190 票を得た大井信一氏が選出され、同日15時から開催された評議会において次期学長候補者に決定されました。任期は富山大学学長選考基準に基づき、昭和60年 6 月13日から 4 年間。

大井教授は、昭和20年10月台北帝国大学理学部化学科を卒業後、同23年 1 月高岡工業専門学校講師、同25年 4 月富山大学工学部助手、同26年 4 月同助教授、同38年同教授となり、この間、昭和44年10月から同54年 4 月まで富山大学評議員、同54年 4 月から同58年 4 月まで富山大学工学部長及び同評議員を併任、今日に至っています。

専門は、反応工学、理学博士、台湾・台北市出身



### 名誉教授の称号授与

昭和60年3月31日限り停年により退職された次の方に対し、昭和60年4月19日付けで富山大学名誉教授の称号が贈られました。



名誉教授

梅原 隆 章

京都帝国大学大学院修了

文学博士

昭和23年2月富山高等学校講師(常勤)、同24年5月同校は富山大学に包括され、同24年6月文部教育に任命、同年同月富山大学富山高等学校講師、同25年1月兼富山大学講師、同年3月富山大学講師、同27年7月富山大学助教授(文理学部)、同42年9月富山大学教授

(教養部)となり、36年有余の永きにわたり常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、教養部学生の教育・指導に当り、将来の社会を背負う基礎教育に専念され、優秀なる人材育成に貢献されました。

この間、昭和43年10月から同44年5月まで富山大学学生部長及び評議員、同45年4月から2年間及び同55年4月から同59年3月までの合わせて3期6年間富山大学教養部長並びに評議員を務め、大学の管理・運営に参画し、大学・教養部の発展に多大な貢献をされました。

一方、歴史学の教授として研究に従事され、研究論文として、文学博士論文である「近世真宗史の諸問題」をはじめ、親鸞・真宗史の著書・論文を多数発表し、広く関係学会等からも高い水準を示すものであると評価されています。

### 海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修旅行	理 学 部	教 授	小林 貞作	中華人民共和国	ゴマ研究開発の国際交流のため	60. 4. 15 } 60. 4. 21
	トリウム科学センター	助 手	市村 憲司	アメリカ合衆国	第2回核分裂、核融合及び同位体の応用に関するトリウム理工学総合会議への参加、発表並びに関連研究者との情報交換及び討議のため	60. 4. 28 } 60. 5. 11

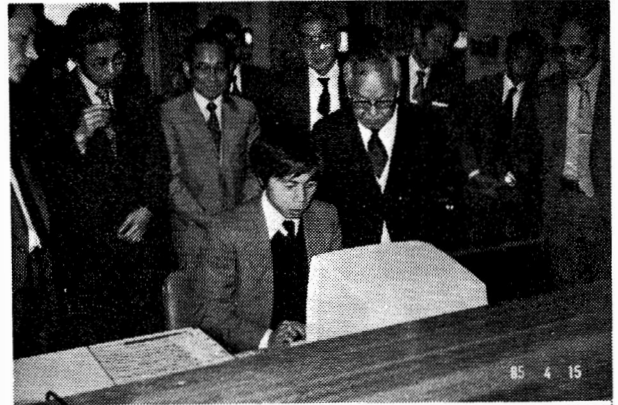


### 附属図書館電算化業務の開始

情報処理センター機構の一環である附属図書館業務の電算化がセンターの運用開始に伴い、去る4月15日附属図書館において図書館全職員の注視のもとに学長によりシステムの運用開始の通電が行われました。これにより図書館業務の電算化が稼動したわけです。当面は、閲覧業務と目録作成業務及び目録検索業務が稼動し、逐次雑誌管理、図書管理、予算管理、情報検索等についてもシステムの開発を進めています。

これらのシステムが軌道に乗り学術情報センターシステムと結合が実現すれば、学術情報資源のより一層の充実と利用が拡大し、図書館業務及びサービスに質的

な向上をもたらすこととなります。



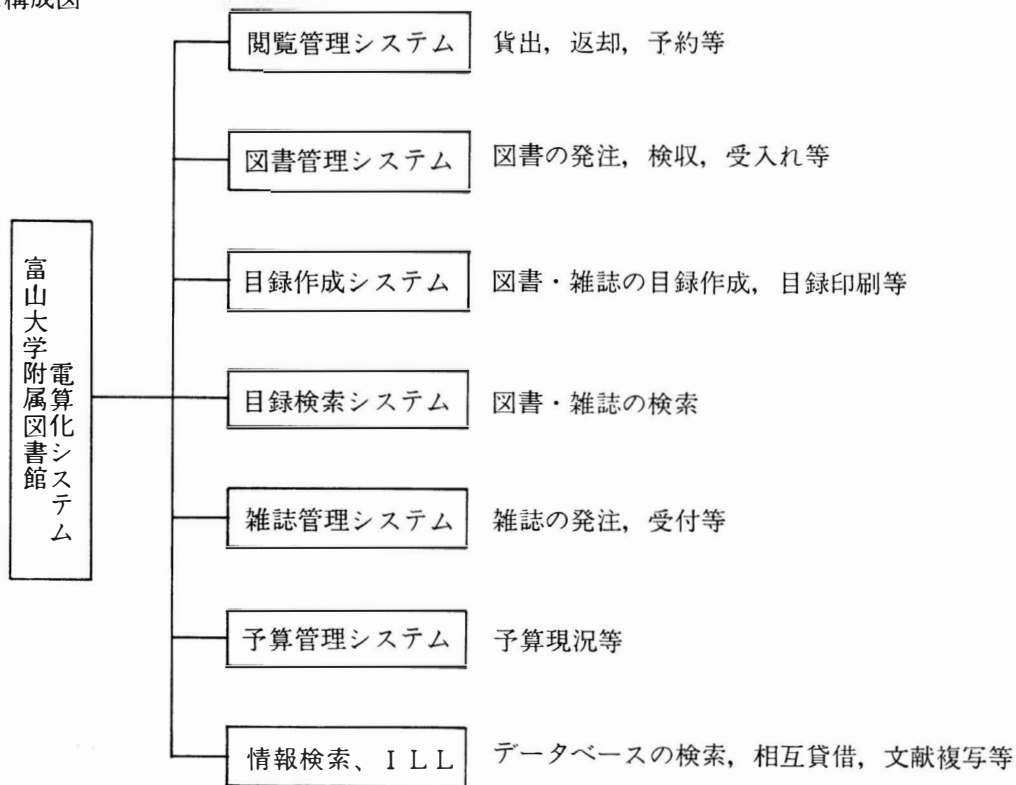
#### システムの概要

##### 1) システムの特徴

システムはILIS(富士通が図書館向けに開発したソフトウェア・パッケージ群)を使用しています。特徴としては、イ) DBMSとして、関係データベース(RDB)

を利用した柔軟なシステムです。ロ) インテリジェント端末を利用したオンライン分散処理システムです。

##### 2) システム構成図

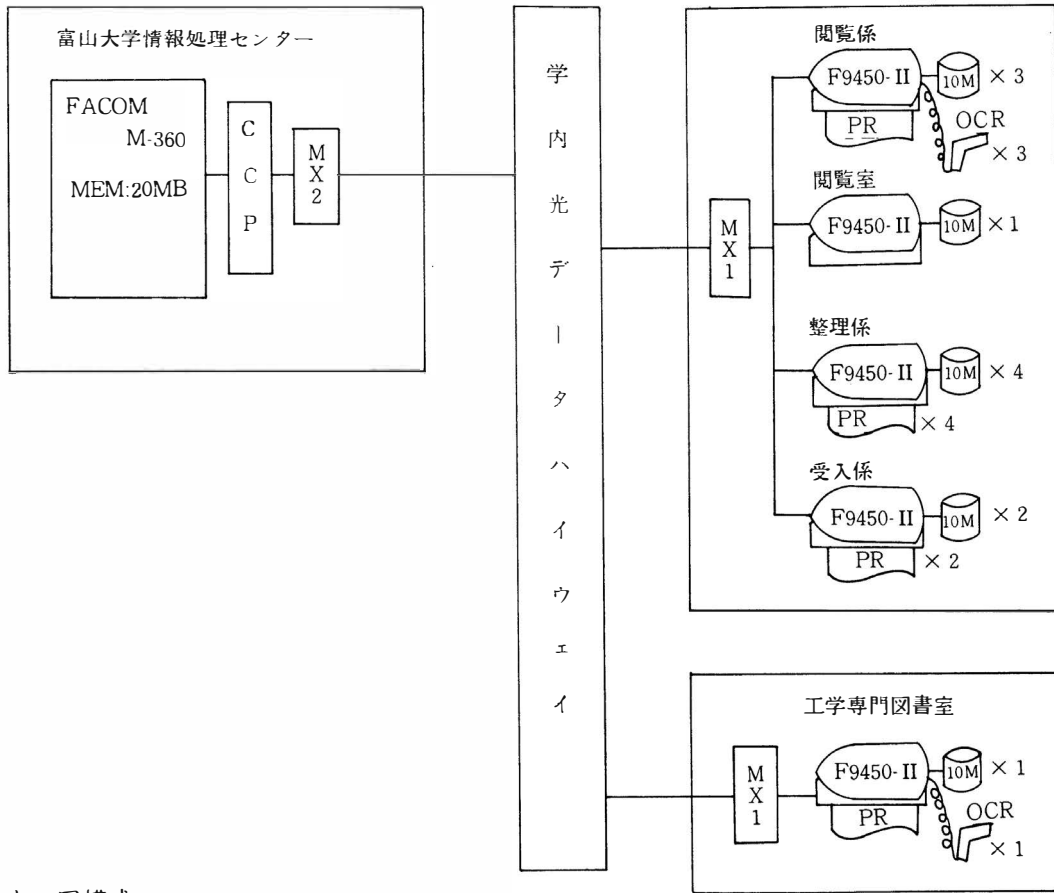


##### 3) ハードウェア構成

情報処理センターのFACOM-M360電子計算機を主機として学内光データハイウェイで結ばれた多機能な

パーソナルコンピュータ F9450 IIが11台配置されています。

ハードウェア構成図



4) ソフトウェア構成

情報処理センターのオンラインデータベースシステム (AIM) の機能を利用して、オンラインプログラム (ホスト側 ILIS) と端末のプログラム (端末側 ILIS)

とが、通信制御プログラム (VTAM) を介してデータの交信をしながら業務を行う。

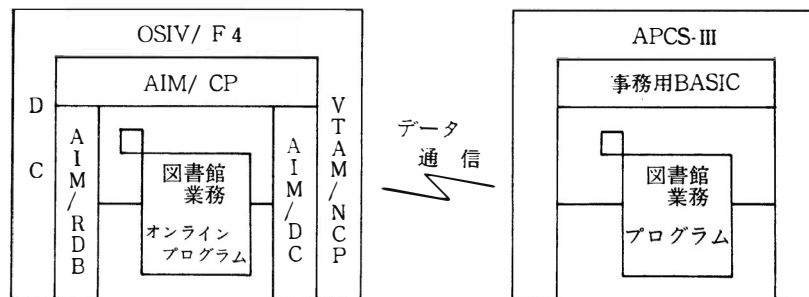
ソフトウェア構成図

富山大学情報処理センター

FACOM M-360

富山大学附属図書館

FACOM F 9450-II



- AIM : Advanced Information Manager
- RDB : Relational Data Base
- CP : Control Program
- DC : Data Communication
- APCS : Advanced Personal Computer System
- BASIC: Beginners All Purpose Symbolic Instruction Code
- VTAM: Virtual Telecommunications Access Method
- NCP : Network Control Program

職員 消 息

《改 姓》

理 学 部

文 部 技 官 田 中 る み  
(旧姓 佐伯)

経 済 学 部

助 教 授 伊 藤 良 広

《新任者》

工 学 部

助 手 田 代 発 造  
(工業計測)

理 学 部

助 手 阿 部 幸 隆

文 部 技 官 田 中 る み

教 養 部

講 師 成 田 節  
(ドイツ語)

教 養 部

助 教 授 中 河 伸 俊

《住所変更》

人 文 学 部

助 教 授 河 村 貞 枝

講 師 江 上 繁 樹

講 師 釘 貫 亨

《電話新設》

教 育 学 部

教 授 中 村 宗 彦

教 育 学 部

助 手 堀 田 朋 基



## 主 要 行 事

### 本 部

- 4月1日 第4回学長選考管理委員会  
 5日 学生部係長連絡会  
 8日 第1回入学者選抜方法研究委員会専門委員会  
 9日 第5回学長候補適任者選定委員会  
 第5回学長選考管理委員会  
 10日 富山大学(学部, 専攻科, 大学院研究科)  
 並びに富山大学経営短期大学部入学式  
 (於 富山市公会堂)  
 10~13日 新入生オリエンテーション  
 11日 新入生健康診断  
 15日 第1回事務協議会  
 第1回会計係長会議  
 16日 第1回部局長懇談会  
 17日 営繕工事要求説明(於 文部省)  
 18日 第1回学園ニュース編集委員会  
 19日 第1回評議会  
 第1回教務委員会  
 20日 第2回入学者選抜方法研究委員会専門委員会  
 第1回大学案内編集委員会  
 22日 第1回低温液化室運営委員会  
 第1回情報処理センター運営委員会  
 服務関係事務調査(施設課)  
 23日 第1回放射性同位元素委員会  
 第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会  
 第6回学長選考管理委員会  
 服務関係事務調査(経理部)  
 学生部係長連絡会  
 23~24日 第67回東海・北陸地区国立学校等会計部課  
 長会議(於 名古屋工業大学)  
 24日 次期学長候補者選挙  
 第7回学長選考管理委員会  
 第2回評議会

- 25日 第1回トリチウム科学センター運営委員会  
 専門委員会  
 学校基本調査説明会(於 名古屋大学)  
 第41回東海・北陸地区国立学校等施設部課  
 長会議(於 愛知教育大学)  
 26日 第1回授業料等減免選考委員会  
 第1回補導協議会  
 第48回構内交通対策委員会  
 服務関係事務調査(学生部・保健管理セン  
 ター)  
 30日 服務関係事務調査(庶務部・トリチウム科  
 学センター)

### 人 文 学 部

- 4月8日 将来計画委員会  
 9日 教授会  
 人事教授会  
 教務委員会  
 11日 新入生オリエンテーション及び健康診断  
 12日 職業補導委員会  
 前学期授業開始  
 13日 学部補導委員会(持ち回り)  
 15日 大学院設置要求関係打合せ会  
 20日 学部補導委員会(持ち回り)  
 学部教務委員会  
 24日 紀要委員会  
 教授会  
 学部図書委員会  
 25日 学部補導委員会  
 26日 予算委員会  
 27日 4年次学生就職関係等説明会  
 30日 服務関係事務調査

## 教育学部

- 4月3日 人事教授会  
 5日 前学期授業開始  
 6日 附属小学校第1学期始業式  
 附属幼稚園第1学期始業式  
 8日 附属小学校入学式  
 附属中学校第1学期始業式  
 附属養護学校第1学期始業式  
 9日 学部補導委員会  
 附属中学校入学式  
 附属養護学校入学式  
 10日 学部教務・補導合同委員会  
 学部教務委員会  
 教授会  
 学部補導委員会  
 附属幼稚園入園式  
 11日 新生オリエンテーション及び健康診断  
 15～16日 昭和60年度春季北陸地区教員養成学部事務  
 長協議会（於 福井県芦原温泉）  
 17日 予算委員会  
 学部自然観察実習センター委員会  
 18日 学部将来計画委員会  
 22日 服務関係事務調査

## 経済学部

- 4月8日 前学期授業開始  
 9日 学部教務委員会  
 各種委員選考委員会  
 教授会  
 11日 新生オリエンテーション及び健康診断  
 講演会（201番教室）  
 ・演 題 「ドイツ民主共和国における産業  
 用ロボット」  
 ・講 師 ドイツ民主共和国ベルリン経済  
 大学教授エケハルト・ザクセ氏  
 17日 教授会  
 22日 学部職業補導委員会  
 25日 助手室業務運営委員会  
 論集委員会

26日 学部補導委員会

## 理学部

- 4月9日 教授会  
 理学研究科委員会  
 人事教授会  
 11日 新生オリエンテーション及び健康診断  
 12日 学部補導委員会  
 学部図書委員会  
 15日 前学期授業開始  
 学科主任会議  
 19日 入試改善会議  
 30日 服務関係事務調査

## 工学部

- 4月4日 係長連絡会  
 5日 学部教務委員会  
 8日 教授会  
 工学研究科委員会  
 11日 新生オリエンテーション及び健康診断  
 学科主任会議  
 学部構内交通対策委員会  
 12日 前学期授業開始  
 16日 係長連絡会  
 17日 学部補導委員会  
 24日 学部構内交通対策委員会  
 教授会  
 25日 学部改革検討委員会  
 26日 服務関係事務調査

## 教養部

- 4月8日 教務委員会  
 教務・補導合同委員会  
 補導委員会  
 人事教授会

## 教授会

- 10日 教養部オリエンテーション  
 11日 前学期授業開始  
 17日 図書委員会  
 視聴覚教育委員会  
 予算委員会  
 24日 推薦委員会

## 保健管理センター

- 4月5日 臨時健康診断（柔道部）  
 11日 新入生健康診断  
 24日 臨時健康診断（山岳部）  
 26日 服務関係事務調査

## 附属図書館

- 4月15日 電算化業務開始式  
 19～20日 第36回北信越地区国立大学図書館協議会  
 （於 福井医科大学）  
 25日 服務関係事務調査

## 経営短期大学部

- 4月  
 3～5日 入学手続  
 10日 入学式（於 富山市公会堂）  
 11日 第1回教授会  
 新入生オリエンテーション  
 新入生歓迎会  
 12日 前学期授業開始  
 学生定期健康診断  
 25日 第2回教授会  
 26日 第1回授業料等減免選考委員会

## トリチウム科学センター

- 4月25日 第1回トリチウム科学センター運営委員会  
 専門委員会  
 30日 服務関係事務調査

◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう！！

◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう！！

資 料

昭和60年度入学者数

学 部

区 分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳							
			男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人	大学検定	
人 文	人 文 学 科	90	90	30	60	49( 39)	41( 21)	72( 52)	18( 8)	0
	語 学 文 学 科	80	80	13	67	46( 43)	34( 24)	70( 61)	10( 6)	0
	計	170	170	43	127	95( 82)	75( 45)	142(113)	28( 14)	0
教 育	小学校教員養成課程	140	140	34	106	122( 94)	18( 12)	120( 94)	20( 12)	0
	中学校教員養成課程	50	50	20	30	37( 23)	13( 7)	40( 26)	10( 4)	0
	養護学校教員養成課程	20	20	4	16	14( 13)	6( 3)	16( 14)	4( 2)	0
	幼稚園教員養成課程	30	30	0	30	24( 24)	6( 6)	30( 30)	0( 0)	0
	計	240	240	58	182	197(154)	43( 28)	206(164)	34( 18)	0
経 済	経 済 学 科	120	120	108	12	70( 11)	50( 1)	79( 12)	41( 0)	0
	経 営 学 科	120	120	98	22	76( 19)	44( 3)	86( 22)	34( 0)	0
	経 営 法 学 科	60	60	53	7	29( 6)	31( 1)	45( 7)	15( 0)	0
	計	300	300	259	41	175( 36)	125( 5)	210( 41)	90( 0)	0
理	数 学 科	40	40	28	12	25( 8)	15( 4)	30( 9)	10( 3)	0
	物 理 学 科	40	40	35	5	15( 2)	25( 3)	23( 3)	17( 2)	0
	化 学 科	40	41	28	13	21( 8)	20( 5)	34( 12)	7( 1)	0
	生 物 学 科	30	30	25	5	3( 0)	27( 5)	19( 5)	11( 0)	0
	地 球 科 学 科	30	30	25	5	10( 2)	20( 3)	16( 4)	14( 1)	0
	計	180	181	141	40	74( 20)	107( 20)	122( 33)	59( 7)	0
工	電 気 工 学 科	50	50	50	0	32( 0)	18( 0)	34( 0)	16( 0)	0
	工 業 化 学 科	45	45	41	4	13( 3)	32( 1)	35( 4)	10( 0)	0
	金 属 工 学 科	40	40	40	0	13( 0)	27( 0)	27( 0)	13( 0)	0
	機 械 工 学 科	50	50	50	0	28( 0)	22( 0)	36( 0)	14( 0)	0
	生 産 機 械 工 学 科	40	40	40	0	11( 0)	29( 0)	30( 0)	10( 0)	0
	化 学 工 学 科	40	40	36	4	18( 2)	22( 2)	21( 3)	19( 1)	0
	電 子 工 学 科	40	40	40	0	25( 0)	15( 0)	30( 0)	10( 0)	0
	計	305	305	297	8	140( 5)	165( 3)	213( 7)	92( 1)	0
合 計	1,195	1,196	798	398	681(297)	515(101)	893(358)	303( 40)	0	

(注) ( )内数字は女子で内数を示す。



・ 大学院

区 分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳						
			男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人	
理学研究科	数 学 専 攻	8	2	1	1	1(0)	1(1)	2(1)	0(0)
	物 理 学 専 攻	8	8	8	0	1(0)	7(0)	8(0)	0(0)
	化 学 専 攻	10	2	2	0	2(0)	0(0)	1(0)	1(0)
	生 物 学 専 攻	8	3	3	0	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	地 球 学 専 攻	8	4	4	0	0(0)	4(0)	4(0)	0(0)
	計	42	19	18	1	4(0)	15(1)	18(1)	1(0)
工学研究科	電 気 工 学 専 攻	10	7	7	0	3(0)	4(0)	6(0)	1(0)
	工 業 化 学 専 攻	10	7	6	1	4(0)	3(1)	7(1)	0(0)
	金 属 工 学 専 攻	8	9	8	1	5(1)	4(0)	9(1)	0(0)
	機 械 工 学 専 攻	10	7	7	0	4(0)	3(0)	6(0)	1(0)
	生 産 機 械 工 学 専 攻	8	2	2	0	2(0)	0(0)	2(0)	0(0)
	化 学 工 学 専 攻	8	8	8	0	3(0)	5(0)	8(0)	0(0)
	電 子 工 学 専 攻	8	12	12	0	8(0)	4(0)	12(0)	0(0)
	計	62	52	50	2	29(1)	23(1)	50(2)	2(0)
合 計	104	71	68	3	33(1)	38(2)	68(3)	3(0)	

(注) ( )内数字は女子で内数を示す。

・ 専攻科

区 分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳					
			男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人
文 学 専 攻 科	10	9	8	1	7(0)	2(1)	8(1)	1(0)
教 育 専 攻 科	5	3	1	2	2(1)	1(1)	3(2)	0(0)
経 済 学 専 攻 科	10	0	0	0	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合 計	25	12	9	3	9(1)	3(2)	11(3)	1(0)

(注) ( )内数字は女子で内数を示す。

・ 経営短期大学部

区 分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳							
			男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人	大学検定	
経営 学科	経 営 管 理 専 攻	60	50	37	13	46(12)	4(1)	25(10)	24(3)	1
	経 営 ・ 法 律 専 攻	40	20	13	7	16(6)	4(1)	5(3)	14(4)	1
合 計	100	70	50	20	62(18)	8(2)	30(13)	38(7)	2	

(注) ( )内数字は女子で内数を示す。



昭和60年度学生数  
(昭和60年5月1日現在)

学 部

区 分	入 学 定 員	總定員	教 養 部						学 部						合 計			
			1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次						
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
人 文	人文学科	90	360	30	60	90	43	53	96	33	51	84	51	56	107	157	220	377
	語学文学科	80	320	13	67	80	14	71	85	22	74	96	34	64	98	83	276	359
	計	170	680	43	127	170	57	124	181	55	125	180	85	120	205	240	496	736
教 育	小学校 教員養成課程	140	560	34	106	140	26	119	145	27	113	140	58	93	151	145	431	576
	中学校 教員養成課程	50	200	20	30	50	23	25	48	16	28	44	25	26	51	84	109	193
	養護学校 教員養成課程	20	80	4	16	20	1	20	21	5	14	19	3	18	21	13	68	81
	幼稚園 教員養成課程	30	120	0	30	30	0	29	29	0	30	30	0	29	29	0	118	118
	計	240	960	58	182	240	50	193	243	48	185	233	86	166	252	242	726	968
経 済	経済学科	120	480	108	12	120	125	12	137	104	11	115	121	7	128	458	42	500
	経営学科	120	480	98	22	120	※ 98	30	※ 127	89	30	119	125	14	139	※ 410	96	※ 506
	経営法学科	60	240	53	7	60	59	8	67	45	13	58	67	8	75	224	36	260
	計	300	1,200	259	41	300	※ 282	50	※ 332	238	54	292	313	29	342	※ 1,092	174	※ 1,266
理 学	数学科	40	160	28	12	40	34	13	47	43	14	57	21	7	28	126	46	172
	物理学科	40	160	35	5	40	50	3	53	52	4	56	26	3	29	163	15	178
	化学科	40	160	28	13	41	24	18	42	29	19	48	20	16	36	101	66	167
	生物学科	30	120	25	5	30	22	9	31	30	10	40	16	9	25	93	33	126
	地球科学科	30	120	25	5	30	37	1	38	35	4	39	21	7	28	118	17	135
	計	180	720	141	40	181	167	44	211	189	51	240	104	42	146	601	177	778
工 学	電気工学科	50	200	50	0	50	62	0	62	51	0	51	51	0	51	214	0	214
	工業化学科	45	180	41	4	45	42	10	52	59	4	63	28	4	32	170	22	192
	金属工学科	40	160	40	0	40	55	0	55	44	0	44	24	3	27	163	3	166
	機械工学科	50	200	50	0	50	61	0	61	80	0	80	36	0	36	227	0	227
	生産機械工学科	40	160	40	0	40	55	0	55	50	0	50	37	0	37	182	0	182
	化学工学科	40	160	36	4	40	49	2	51	48	2	50	28	0	28	161	8	169
	電子工学科	40	160	40	0	40	44	1	45	44	2	46	40	1	41	168	4	172
	計	305	1,220	297	8	305	368	13	381	376	8	384	244	8	252	1,285	37	1,322
合 計	1,195	4,780	798	398	1,196	※ 924	424	※ 1,348	906	423	1,329	832	365	1,197	※ 3,460	1,610	※ 5,070	

(注) ※は私費外国人留学生1名を含む。

## ・ 大学院

区 分	入学 定員	総 定員	1 年 次			2 年 次			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
理学研究科	42	84	18	1	19	20	3	23	38	4	42
工学研究科	62	124	50	2	52	※41	1	※42	※91	3	※94
計	104	208	68	3	71	※61	4	※65	※129	7	※136

(注) ※は私費外国人留学生1名を含む。

## ・ 専攻科

区 分	入学定員	男	女	計
文学専攻科	10	9	2	11
教育専攻科	5	1	2	3
経済学専攻科	10	0	0	0
計	25	10	4	14

## ・ 経営短期大学部

区 分	入学 定員	総 定員	1 年 次			2 年 次			3 年 次			合 計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
経営 学科	経営管理専攻	60	180	37	13	50	32	12	44	35	20	55	104	45	149
	経営・法律専攻	40	120	13	7	20	25	8	33	28	11	39	66	26	92
計		100	300	50	20	70	57	20	77	63	31	94	170	71	241

## 昭和60年度聴講生，研究生数

(昭和60年5月1日現在)

区 分	聴 講 生			研 究 生		
	男	女	計	男	女	計
人文学部	2	5	7			
教育学部	6	6	12			
経済学部	2		2	1		1
理学部				2		2
工学部	3		3	※7		※7
教養部				1		1
計	13	11	24	※11		※11
学部卒以上	11	7	18	※11		※11
上記以外	2	4	6			
計	13	11	24	※11		※11

(注) ※は中国政府派遣研究留学生2名を含む。

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を  
来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、  
歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!



編集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 中央印刷株式会社  
富山市下奥井1-4-5  
電話 32-6572代